

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	笛吹川フルーツ公園					
指定管理者	(財)山梨県公園公社					
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと。 ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・果樹にふれあう場を提供すること。 主催事業の実施を通じて、果樹に関すること等を学ぶ機会を提供すること。 果樹の展示を通じて、果樹にふれあい、果樹を学ぶ場を提供すること。					
指定管理者が行う業務	施設、備品の管理運営業務 生活環境の緑化、くだものの振興業務 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 県が実施するイベント等への協力					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	利用者に安全、快適な環境を提供するため、施設・設備の点検や、果樹・緑地の適正な管理に努めた。	適切な日常点検を行っていた。 ・日誌等で、細かい項目を点検しているため、不具合場所等は早期に発見、対応できている。 今後も更に適切な維持管理に努めること。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	安全で快適な環境を提供すると共に、様々なイベントを通して果樹の提供、緑化の推進を図り、都市公園の機能充実に努めた。	業務計画書に基づき適切な運営が行われていた。 季節の果物に応じたイベントが非常に好評であった。 公園利用者の増加を図るため広報活動を強化し、公園の特色を生かしたイベントを企画すること。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	イベント、体験教室については利用者から好評を得ている。カフェテリアには人気の定番メニューもあり来園者からは好評を得ている。 県産食材を利用したレストランは利用者が多数。	レストラン、カフェテリアの広報活動を強化し利用者のニーズにあった運営に努め、利用者の増加に努めること。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 総合満足度 満足57%・普通17%・不満14% 満足度評価値=57/(57+14)=80% 園路の歩きやすさ 満足46%・普通27% 遊具の使いやすさ 満足36%・普通34% 公園職員の対応 良い35%・普通39%	・産地の品の宣伝に熱意を感じる。 ・広々として気持ちいい。 ・フルーツがたくさんあって散歩していて楽しかった。				
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	・遊具が充実していることから、家族連れや年少者から好評を得ている。 ・園内で収穫された果実を地域の障害者施設に提供をし好評を得た。	満足度評価値は80%と非常に高い。今後はアンケートをもとに利用者からの多様なニーズを把握し利用者の増加に努めること。				
利用実績	利用者数	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)	
	公園利用者数	411,100	412,000	347,800	412,000	
	有料施設利用者数	41,831	42,000	37,070	42,000	
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	大河ドラマ「風林火山」の影響もあり、武田信玄関連史跡への関心が高まった結果、公園利用者が前年度より減少した。 H20年度は公園の特色を生かしたイベントなどにより利用者の増加を図っていく。	公園利用者数が減少し、目標は達成できなかったことから、利用者が増加するような自主事業、広報活動をおこなうこと。 また民活区域との連携を図り利用者の増加を図ること。				
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	15,444,000	13,871,985	1,572,015	13,234,000
		指定管理料	248,694,000	248,694,000	0	248,694,000
		その他収入	6,589,000	208,751	6,380,249	19,017,000
		計	270,727,000	262,774,736	7,952,264	278,945,000
	支出	265,581,000	250,566,576	15,014,424	277,317,000	
差し引き(収入-支出)	5,146,000	12,208,160		1,628,000		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	利用者が前年度より減少した事により利用料金収入が減少。支出については、委託費の執行差金、消耗品の節約により全体的な経費は抑えた。	利用率を高め、有料公園施設の収入増加に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	公園の利用人数については昨年度と比較すると減少し目標は達成できなかったものの、安全で快適な緑地環境を提供するとともに、様々なイベントをとおして、果樹提供、緑化の推進を図り、都市公園の機能充実に努めた事により概ね目標は達成できた。					
総合的な評価及び改善事項	各施設・果樹・緑地の日常点検・定期点検が行われ、適切に維持管理が行われている事は評価できる。 各種イベントや体験教室を開催し、利用者に好評であった。 公園の特色を生かし、来園者の増加につながるようなイベントを開催していくこと。 H20年度で指定管理期間が終了するので、次期管理者に円滑な引継ぎができるよう努めること。					